学校番号	2101

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「新編言語文化」（大修館）						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、近現代の小説や詩歌、古典作品（古文・漢文）を読み味わい、作品の主題やテーマなどを理解・実感していくことをめざします。
・それぞれの作品を読み解くために必要な基礎知識や、作者についても理解を深めていきます。
・授業では、作品の本文を教材として、担当教員が作成した学習課題に取り組みます。また、教材文の音読や意見の発表等も行います。
・様々な作品を読んだり、他者の意見に触れたりすることで、自らのものの考え方や感じ方を豊かにしていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
国語の基礎的な知識や、古典を読むために必要な文法・句法を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を養う。また、文章に描かれている人物の心情を正しく読み取ることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・作品で用いられている語彙や表現の特徴などについて理解している。 ・古典を読むために必要な文法・句法、古語、文化などの知識を理解している。	・発表や教材の内容を正確に聞き取り、自分の考えを整理して話すことができる。 ・場や課題に応じた形で自分の考えをまとめ、適切な表現で書き表すことができる。 ・教材文を正確に読み取り、自分の知識や意見と結びつけた上で、理解を深めることができる。	・言語文化に対して関心をもち、自らのものの見方や考え方を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	古文入門 （歴史的仮名遣い、文法） ［教材］ 『宇治拾遺物語』児のそら寝	a：古文特有の言葉の決まりを理解している。 b[読]：古文特有の言葉に注意しながら読み進め、教材文の物語や展開を理解している。 c：日本の言語文化に興味を持ちながら学習する姿勢がある。	・発問 ・単元テスト	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・取り組む姿勢
	古文を味わう ［教材］ 『伊勢物語』筒井筒 『徒然草』高名の木登り など	a：古文特有の言葉の決まりを理解している。 b[読]：古文特有の言葉に注意しながら読み進め、教材文の物語や展開を理解している。 c：日本の言語文化に興味を持ちながら学習する姿勢がある。 a：教材文中の助動詞や古典文化について理解している。 b[読]：内容を読み解き、登場人物や作者の心情を想像することができる。 c：古文を読むうえで重要な語句や文化を確認し、古文の雰囲気を味わおうとしている。	・発問 ・単元テスト	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・取り組む姿勢
	近現代の文学作品から 生き方について考える ［教材］ 『羅生門』	a：文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]：教材文の内容を読み取り、文章の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：時代背景を知り、教材文の内容を理解し自分の意見が持てる。	・小テスト ・発問 ・単元テスト	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・取り組む姿勢
	伝えたいことを短い言葉で 表す詩歌を味わう ［教材］ 「短歌」「俳句」	a：和歌の形式について理解している。 b[読]：表現を味わうとともに、作者の心情を想像し、作品の主題について考察を深めている。 c：情景、心情などを捉え、作中の表現の効果について考えている。	・小テスト ・発問 ・単元テスト	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・取り組む姿勢
	近現代の随筆から 生き方について考える ［教材］ 『ことばは光』	a：本文の論旨や表現の特徴を理解している。 b[書]：教材文の主題と自分の経験を結びつけて考えを深め、感想文としてまとめることができている。 c：自分の経験と結びつけながら、教材文の内容を理解しようとしている。	・小テスト ・発問 ・単元テスト	・発問 ・単元テスト ・記述の点検 ・感想文の確認	・記述の点検 ・取り組む姿勢

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５～１０　）時間

・書くこと　…　（　５～１０　）時間

・読むこと　　…　（　４０～４５　）時間

うち、近代以降の文章に関する指導　（　　２０　　)時間